



## ドゥルパド (Dhrupad / ध्रुपद) 演奏の実際

～ひとつの演目はどのように即興進行していくのでしょうか？

添付資料 1

はじめに

カタカナ表記について

ラーガ/ラーグ、スワラ/スワル、ターラ/タール、などは、デーヴァナーガリー文字での元の綴りは同じですが、サンスクリット語風/ヒンディー語風、の発音の違いがあります。必ずではありませんが、ヒンディー語では単語最後が短母音 a で終わった場合、その a をほとんど発音しないことが多いので、サンスクリットでは小さく [ア] と発音します。

ラーガ (rāga / राग) などは、日本ですでに「ラーガ」とサンスクリット風の発音で普及しているので、そのような単語は普及している方を採用しています。しかし、インド現地での音楽修行で実際に耳にするのは、どちらかという「ラーグ」に近い発音です。

その他の専門用語はインドで実際にレッスンを受ける日常での発音を採用しています。

## IAST表記法について

インドの発音は、母音からして日本語よりも多く、また、短母音や長母音、二重母音、子音だけの場合、などもあります。カタカナで表すことは、かなり無理なのです。

講義を聞いてくださっている皆さんの中には、インド音楽家の方も、修行中の方も、習いたいと思っている方も、これから習いたいと思うかもしれない方もいらっしゃるでしょう。

特に声楽は発音が大切です。

そのためには、できればデーヴァナーガリー文字に取り組まれることをお勧めしますが、IAST表記法 (International Alphabet of Sanskrit Transliteration) というラテン拡張文字を使ったデーヴァナーガリーの翻字方式でも、正確な発音を表すことができます。

そこで、この講義では実際の発音に少しでもアクセスできるよう、ここでは、できるだけインドの専門用語を、IAST表記/デーヴァナーガリー表記を添えて書くようにしました。ただし、用語自体が、地方色やどの流派に属するか、ヒンドゥー色が強いかわルドゥー色が強いかなどにより、インドでも違う場合があることをお断りしておきます。

IAST表記法と発音は、まとめをご参照ください。

## 参考資料

### 【よく登場する単語】

#### ドゥルパド (Dhrupad ध्रुपद)

インドで生き続ける最古の古典音楽様式。現在ある全ての北インド古典音楽の母胎となっている。主に声楽が主流であるが、ドゥルパドの伝統的器楽としては、弦楽器ルドラ・ヴィーナーがある。基本的にドゥルパド様式で演奏可能なら、どの楽器でも演奏して良い。太鼓はパカーワジ。

#### カヤール/キヤール (Khayāl / Khyāl खयाल / ख्याल)

現在主流となっている北インド古典音楽様式。ドゥルパドを母胎として、ペルシア音楽の影響を受けて登場した。声楽の他にシタールなどの器楽演奏も多彩にある。太鼓はタブラー。

#### パカーワジ (pakhāvaj पखावज)

ドゥルパドで用いられる打楽器。樽を横向きに置いたような両面太鼓であり、一木でできている。鼓面には山羊の皮が貼られている。

#### サンギート (saṅgīt संगीत)

声楽・器楽・舞踊演劇から成る上演芸術。

#### グル (Guru गुरु)

師匠や先生。グル・ジーは、お師匠さま。

#### ウスタード (ustād / उस्ताद)

省略形はUd. イスラム教徒のマスターに与えられる称号。

#### パンディト (paṇḍit / पंडित)

省略形はPt. ヒンドゥー教徒のマスターに与えられる称号。

#### ラーガ (rāga राग)

旋律型

#### ターラ (tāla ताल)

リズム周期

#### パダ (pada पद)

歌詞

スワル/スワラ (svara स्वर)

「音」という意味ですが、ただし、サレガマなどの音名(階名)のある音のことで、1オクターブは基本的に12スワルからなりたつ。

ラヤ (laya लय)

速度、テンポ。

#### 【Pt. リトウィク・サンニャル札幌公演】



#### 【インド音楽のドレミファ】

現在、インド音楽においても、西洋音楽と同様に、基本的には1オクターブは7つの音と5つの半音の計12音から成り立ちます。これをもう少しインド風に言いますと、1オクターブは7つの音と5つの半音の計12音のスワル(スワラ)から成り立つ、ということになります。

それは、ピアノ風と言うなら、白鍵7つと黒鍵5つ、という構造で、白鍵に相当する音はシュッダ・スワル(シュッダは純正という意味)、1オクターブはサレガマパダニサとなります。西洋式に言えば、メジャー・スケール(長調)ですね。

半音にも名称があり、フラットのことをコーマル、シャープをティーヴラと言います。ただし、ひとつの半音を2通りの見方で呼ぶことはありません。例を挙げるなら、レ♭のことをド(サ)♯とは呼ばない、レ♭と呼ぶだけだ、ということになります。

サレガマは、以下の通りです。半音は右に一字おいて書きました。

ド...サ (Sā / सा)

レ♭...コーマル・レ (Komal Re / कोमल रे)

レ...レ (Re / रे)

ミ♭...コーマル・ガ (Komal Ga / कोमल ग)

ミ...ガ (Ga / ग)

ファ...マ (Ma / म)

ファ♯...ティーヴラ・マ (Tivra Ma / तीव्र म)

ソ...パ (Pa / प)

ラ ७ ...コーマル・ダ (Komal Dha / कोमल ध)

ラ...ダ (Dha / ध)

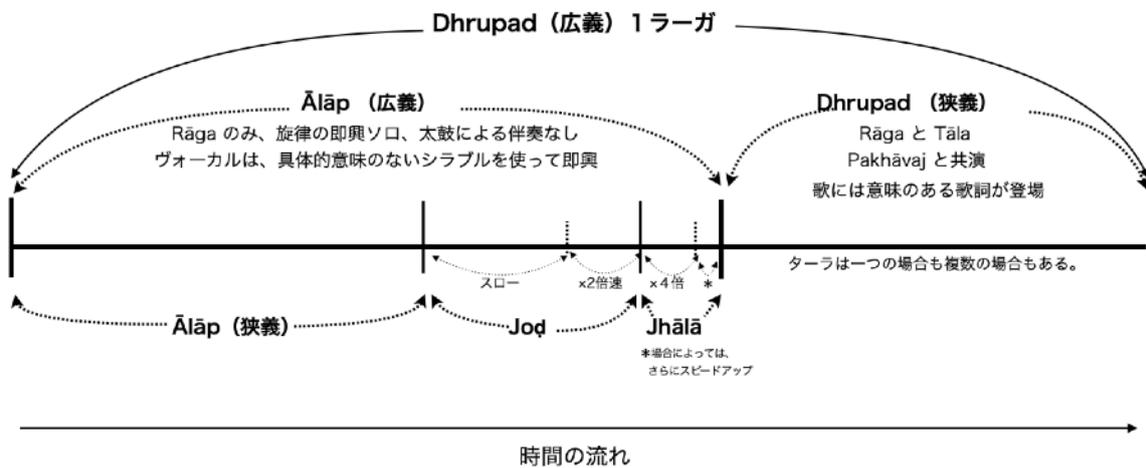
シ ७ ...コーマル・ニ (Komal Ni / कोमल नि)

シ...ニ (Ni / नि)

ただし、音律の違いやインド特有の豊富な微分音などもありますので、西洋音楽と完全に一致しているというわけではありません。ですので西洋音楽用に調律されてしまっているピアノなどでは、インド古典音楽の演奏はほぼ不可能です。

また、インド古典音楽では、サ (Sā)のピッチをどこに設定するかは、その音楽家に委ねられています。

### 【ドゥルパド演奏の流れ】



### 【アーラープの即興用シラブルについて】

シラブルの元になったマントラ

- ・ マンガラ・スーチャク・シャブダ (Maṅgala Sūcaka Śabda मङ्गल सूचक शब्द)

Hari Om Nārāyaṇa, Tarana Tārana Ananta Hari Om

हरि ॐ नारायण, तरन तारन अनन्त हरि ॐ

- ・ パキスタンのタルワンディー流派 (Talwandī तलवन्डी)

nita taraṇa tārana allāh tero nām

### シラブルの種類

＊性質を持つシラブル

Ā (आ)..... 垂直方向のエネルギー

Nā (ना)..... 垂直方向のエネルギー、ナーラーヤナ神(ヴィシュヌ神)のエネルギー

Rī (री)..... 水平方向のエネルギー

Nūm (नूम्)... 点のエネルギー

Om (ॐ)..... 完全なる円のエネルギー

\*軽いシラブル

Ra ( र )、 Na ( न )、 Ta ( त )、 Tī ( ती )、 Tā ( ता )、 Tum ( तुम् )、

### 【ラーガ・バイラヴ ( Bhairav भैरव )のダガルのシラブル】

ダガル (ḍagar डगर )

①Ā、 ( आ、 )

②Ra Nā, Nūm、 ( रे ना、 नूम्、 )

③Ra Na Na、 ( र न न、 )

④Ra Na, Nā、 ( र न、 ना、 )

⑤Ra Na Nūm、 ( र न नूम्、 )

⑥Ra Na Na、 Ta Na Tum ( र न न、 त न तुम्、 ) → ムクラー(mukhrā मुखड़ा)

### 【ドゥルパドのターラ】

ターラの基本リズムパターンであるテーカー (Ṭhekā) です。

Dhā や Din, Tā などの言葉は、ボール (Bol बोल) という太鼓用言語で、北インドの太鼓の音の種類を表しています。

ボールの綴りは、インドでさえ不統一です。テーカーは、流派などにより異なったり、複数ある場合があります。

× : ターラ (Tāla ताल) の1拍目サム(sam सम)

II / III / IV : 最初から数えて二つ目 / 三つ目 / 4つ目のターリー (Tālī ताली)

○ : カーリー (khālī खाली)。

|| ~ || : 1サイクルの長さ

| : サイクル内の区分ので仕切り

### チョウタール (cautāl चौताल)

1 2 拍子 = 2(x) + 2(○) + 2(II) + 2(○) + 2(III) + 2(IV)

|| <sup>x</sup>Dhā <sup>○</sup>Dhā | <sup>○</sup>Din <sup>II</sup>Tā | <sup>II</sup>Ṭiṭa <sup>○</sup>Dhā | <sup>○</sup>Din <sup>III</sup>Tā | <sup>III</sup>Ṭiṭa <sup>IV</sup>Kata | <sup>IV</sup>Gadī <sup>○</sup>Gana ||

### スールタール (Sūltāl सूलताल)

10拍子 = 2(x) + 2(○) + 2(II) + 2(III) + 2(○)

|| <sup>x</sup>Dhā <sup>○</sup>Ghīṛa | <sup>○</sup>Naga <sup>II</sup>Dig | <sup>II</sup>Ghīṛa <sup>III</sup>Naga | <sup>III</sup>Gad <sup>○</sup>Dig | <sup>○</sup>Ghīṛa <sup>IV</sup>Naga ||

\*ボールの綴りは、パカーワジ奏者 Pt. Manik Munde さんによります。

その他のターラ

ダマール (Dhamār धमार) 14拍子 = 5(x)+2(II)+3(○)+4(III)

ジャプタール (Jhaptāl झपताल) 10拍子 = 2(x)+3(II)+2(○)+3(III)

ティーヴラタール (Tivrātāl तीव्रताल) 7拍子 = 3(x)+2(II)+2(III)

### 【ラーガ・ビンパラーシーのチョウタール・バンディシュ歌詞】

Rāga Bhīmpalāsī ( राग भीमपलासी ) Cautāl ( चौताल )

第一主題 スターイー (Sthāyī स्थायी )

कुंजन में रच्यो रास	Kuñjana Mem Racyo Rāsa
अद्भुत गति लिये गोपाल	Adbhuta Gati Liye Gopāla
कुण्डल की झलक देख	Kuṇḍala Kī Jhalaka Dekha
कोटी मदन ठिटक्यो ।	Koṭī Madana Ṭhiṭakyo

Kuñjana… ブリンダーバンにあるクンジャバンの森、 mem…のなかで、 racyo…創造する、  
rāsa…クリシュナ神やヴィシュヌ神の物語、 adbhuta…信じられないほど素晴らしい、 gati…動き、 liye…取る、  
Gopāla…牛飼いの主であるクリシュナ神、 kuṇḍala…イヤリング、 kī…の、 jhalaka…輝き、 dekha…見た、  
koṭī…1千万、 Madana…キューピッド、 ṭhiṭakyo…魅了された、

\*チョウタール周期内でのスターイー1ライン目

|| Kuñ<sup>x</sup> — | ja<sup>o</sup> na | Mem<sup>II</sup> — | Ra<sup>o</sup> cyo | — Rā<sup>III</sup> | — sa<sup>IV</sup> ||

### 【YouTubeリンク先】

- Ud. サイドウッディーン・ダーガルのYoutubeリンク先  
Raga Bhairav <https://youtu.be/Xf57MS-MFrc?si=wtualAyeydxphSUF>  
Raga Adbut Kalyan [https://youtu.be/ieaNxQnea34?si=Xm\\_HrhRRdQObRYAO](https://youtu.be/ieaNxQnea34?si=Xm_HrhRRdQObRYAO)
- Ud. ジア・モヒウッディーン・ダーガル  
映画での演奏シーン：[https://youtu.be/VIETAC-YaEA?si=D\\_rjAsl7Kfcui2yp](https://youtu.be/VIETAC-YaEA?si=D_rjAsl7Kfcui2yp)
- 映画『Dhrupad』：<https://youtu.be/eVYjx96TYf8?si=akkKQ7JVG7WP3A1h>  
ドキュメンタリー映画『ドウルパド』  
ぜひ、ご覧になってみてください。映像はかなり古びてしまっていますが、これは第19世代ダーガル家のうち、弦楽器と声楽の両方の伝統を伝える系統のマエストロご兄弟お二人をフィーチャーした映画です。このお二人は、Ud. ジア・モヒウッディーン・ダーガル（兄：ルドラヴィーナー演奏）とUd. ジア・ファリドウッディーン・ダーガル（弟：声楽）で、私Shreeの師 Pt. リトウィク・サンニヤルの師です。完全ではありませんが、英語字幕入りです。音楽がメインの映画ですので、言葉自体は少ないです。
- ジャーラーでパカーワジと演奏するシーン (Pt. Uday Bhawalkar)  
Raga Multani <https://youtu.be/493CUAt7CcU?si=FSEmC6xleEunVKdK> 43:20あたりから  
Raga Lalit <https://youtu.be/DF2m3ExOCyo?si=Vblwe5CoJ0hkfwts> 49:00あたり～

## 【検索用キーワード・綴り】

\*専門用語 カタカナ：検索用アルファベット（IAST表記 デーヴァナーガリー表記）の順に記載しています。

- ・ドゥルパド：dhrupad (dhrupad ध्रुपद)
- ・ダーガル：Dagar (Ḍāgar ड़ागर)
- ・パカーワジ：pakhavaj (pakhāvaj पखावज)
- ・タンプラー／タンブラー：tampura/tambura (Tānpurā तानपुरा / Tambūrā तम्बूरा)
- ・ルドラ・ヴィーナ：rudra vina (rudra vīṇā रुद्र वीणा)
- ・アーラープ：alap (ālāp आलाप)
- ・ムクラ：mukhra (mukhṛā मुखड़ा)
- ・ジョール：jod (joḍ जोड़)
- ・ジャーラー：jhala (jhālā झाला)
- ・バンディシュ：bandish (bandīś बंदिश)
- ・バジャン：bhajan (bhajan भजन)

\*人名（敬称略）

- ・リトウィク・サンニヤル：Ritwik Sanyal
- ・ジア・モヒウッディーン・ダーガル：Zia Mohiuddin Dagar
- ・ジア・ファリドウッディーン・ダーガル：Zia Fariduddin Dagar
- ・ナンシー・クルカルニ：Nancy Lesh Kulkarni
- ・ダーガル・バンドゥー：Dagar Bandhu(brothers)
  - Senior Dagar Bandhu：Nasir Moiuddin Dagar、Nasir Aminuddin Dagar
  - Junior Dagar Bandhu：Nasir Zahiruddin Dagar、Nasir Faiyazuddin Dagar
- ・グンデーチャ・バンドゥー：Gundecha Bandhu
- ・ウダイ・バワールカル：Uday Bhawalkar

